

横浜市立岡津小学校 平成30年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
自己有用感の育成と授業力の向上をめざします。 ～キャッチフレーズ『つなぐ×3』～	
① 児童と教材、児童と児童をつなぐ	☆ 授業の楽しさを実感できるように授業づくりを推進し、学力の向上を目指します。
② 過去と未来の自分をつなぐ	☆ 子どもたちが自他の考えを認め合い、お互いを尊重しあう学年・学級経営に努めます。(目の前にいる子どもたちの問題への気づきと適切な支援)
③ 教職員と教職員、教職員と保護者・地域をつなぐ	☆ 教職員チーム力の醸成と向上を目指し、学校運営組織の確立を推進します。

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

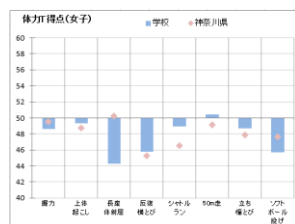
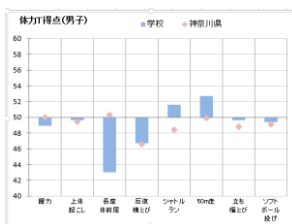
重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	保護者の理解のもと、「早寝、早起き、朝ごはん」を推進し、一行一実践運動の「子どもの体力向上プログラム」を継続的に取り組みながら体力向上を目指します。	① 早寝、早起き、朝ごはんを合言葉に規則正しい生活を培う。 ② 一校一実践運動に「縄跳び」を取り上げ、長縄大会を通して体力の向上に励む。 ③ 地産地消を考え総合的な学習の時間等に学んだり、泉区産の食材を使用した給食を取り入れたりする。
担当	総務部	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・新体力テストの結果では、ほとんどの学年で全国平均や横浜市の平均を下回っている種目が多い。
- ・放課後、体を動かしている児童とそうでない児童との二極化がみられる。
- ・朝食をとってから学校に来る児童がほとんどである。
- ・学校内外での他学年との外遊びの交流が少ない。
- ・ボールを使つての遊びをしている児童が極端に少ない。

(2) 体力の概要と要因の分析 (小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



新体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国平均、市平均以下である。特に、長座体前屈や反復横跳び下回っている。日頃の運動体験では、なかなか柔軟を行う機会が少ないことが影響されていると考えられる。また、反復横跳びは、球技系の運動経験が少ないことが影響していると考えられる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・自分なりのめあてをもって学習に取り組めるようにし、運動の特性にふれながら、体を動かす楽しさを味わえるようにする。
- ・友達とコミュニケーションをとりながら、進んで運動に取り組み、友達の動きのよさに気付きながら、自分の運動の中に取り入れられるようにする。
- ・基本的な運動動作を身につけられるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育と連携を図り栄養について関心をもち、知識を身につけられるようにする。
- ・生活科や総合的な学習の時間では、町探検や町調べの活動から、地域の材を取り上げ食教育と関連して、地産地消を学習できるようにする。

道徳・特活・

- 運動会 ○新体力テスト
- 体育大会 ○球技大会
- 歯科巡回指導 ○健康診断
- 栄養士による給食指導
- 運動委員会による運動の取り組み
- 給食委員会による給食週間
- 保健委員会による保健集会
- 校内ドッジボール大会

課外活動

- 夏季特別水泳クラブ ○地域ドッジボール大会への参加
- 休み時間のボールの貸し出しや、委員会活動による運動へ楽しみながら取り組める企画を立て体力の向上、生活習慣の改善を図る。

平成30年度 岡津小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 岡津っ子体育プラン

《ねらい》 遊びや体育の時間を通して、運動する機会の確保、

体力向上を目指す上での環境作りの充実

《内容》 体育的行事を企画・運営し、内容と取り組みの充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を目指す。（体づくり運動）

●指 標： ①行事後の振り返り（事前アンケート）（満足度）

②生活実態調査（運動やスポーツの実施状況）